

レジオネラ感染症をご存知ですか？

レジオネラ感染症はあまり知られていない病気かもしれませんが、釧路管内で発生が認められている病気です。当院にはあまり入院してきませんが、肺炎の原因菌の検索で検査しているのをご存知ですか？今回はレジオネラ感染症について取り上げます。

レジオネラ症とは？

河川や土壌に常在しているグラム陰性桿菌。水冷式空調設備の冷却水中などで増殖し、これが散布されて吸い込むことで感染し肺炎を発症します。

加湿器などが原因となります。免疫機能が低下している患者に多く発生します。

疫学的には7月の多く発生しています。

潜伏期間は2～10日

主な病型は重症のレジオネラ肺炎と軽症のポンティアック熱に分かれます。

感染経路は？



温泉・循環式風呂



加湿器



貯水槽

菌に汚染された水の誤嚥や菌を含むミストを吸入することで感染。
ただし、**温泉や貯水槽などは定期的な検査や衛生管理に努めていますのでご安心を！**

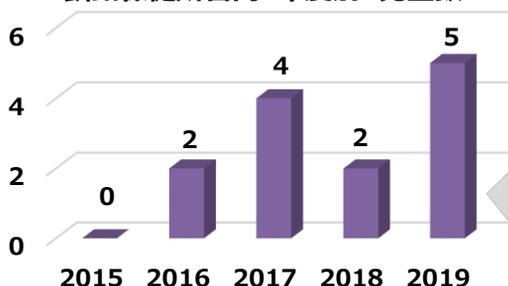
症状は？

レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状や、下痢がみられるのもレジオネラ肺炎の特徴です。適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が進行することがあり、命にかかわることもあります。

ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは**一過性のもので、自然に治癒**します。



釧路保健所管内 年度別 発生数



2019年度は5月までのデータです。発生が多く、今年が高齢者が多く、重症化しています

横のグラフは釧路管内の過去5年間のレジオネラ感染症の発生数です（北海道感染症情報センターより）。レジオネラ症は**4類感染症**に属しており全数報告の対象疾患です。検査でレジオネラ症と診断が確定しましたら**【直ちに報告書提出】**となっておりますので先生方にはお手数ですが保健所への発生届を記載後、速やかに提出をお願い致します。

治療や予防は？

レジオネラはヒト-ヒト間での感染はありません。しかし、感染してしまうと適切な抗菌薬を使用しないと重症化してしまう場合があります。尿検査で簡便に検査できるようになり、原因検索に役立てられています。

感染対策では、冷却塔や給水・給湯設備は定期的な洗浄・水交換や定期検査の実施を行います。当院でも定期的に上記の設備や浴場の定期検査を実施し監視しています。

身近なところで気をつけなければならないのが**加湿器の管理**です。

毎日、洗浄・乾燥させ清潔を保つ。長期的に水をためておくことや洗淨しない、または水を足しながら使用することは絶対にやめましょう。

これからの季節は湿気が多くなり、カビも増えてきます。加湿器の使用は少なくなると思いますが、しっかり洗浄・乾燥させて保管しましょう。レジオネラ菌は加湿器から検出することがあります。

次回もお楽しみに！